

賦課徴収事務

問 20周年記念ナンバープレート交付の内訳は。

答 原動機付自転車50cc以下が白色のナンバーで150枚、90cc以下が黄色で50枚、125cc以下が桃色で50枚、小型特殊自動車が緑色で150枚、計400枚と考えている。

観光地維持管理事業

問 伊良湖海水浴場公衆便所・管理棟改修工事を行う理由は。

答 令和2年から3年間開催してなかった海水浴場を再開するため。
(3/13 予算決算委員会)

結婚支援事業

問 結婚相談所ふれあい相談センターへの委託料が昨年度と変わっていないが、出会いイベントや各種セミナーが年6回から年3回に減っている理由は。

答 参加者から出会いイベントやセミナーをまとめて1日で開催した方が参加しやすく負担が少ないといった意見もあったことから、試験的に3回開催とする。

母子家庭等医療給付事業

問 昨年度と比べ、対象者の見込みが減っているのに対し、増額の予算を見込んでいるのはなぜか。

答 個々の医療費の状況により大きく変わるが、近年の実績や令和4年度上半期の医療費の支出額などを基とした。

高齢者外出支援助成事業

問 高齢者の公共機関による外出を支援するための助成券が、1人当たり6千円から、運転免許証のある方5千円、ない方1万円分に助成額を変更した理由は。

答 助成券交付時のアンケート結果により、免許の無い方の助成額を増額した。ただし、免許保有者の使用予定率も高い数字だったため、助成額を減額した上で対象とすることは継続した。



介護予防普及啓発事業

問 脳の健康教室受講者のテキスト代を半額公費で負担する理由は。

答 自己負担があることで継続する意欲が高まること、自己負担分を支援することで、受講者を増やすことなど総合的に判断した。

母子保健事業

問 新規事業として、生後8か月児見守り訪問事業を実施する狙いは。

答 生後8か月頃には夜泣きや離乳食など、新たな育児に関する心配事が増える時期である。また、母親自身の疲労や睡眠不足は1歳くらいまでは慢性的に続くことがあるため、子育て家庭の孤立を防いで見守りと安心を届けることを狙いとした。



特定不妊治療等支援事業

問 予算が減額した理由は。

答 体外受精など不妊治療が保険適用となったこと、自己負担額の低い一般不妊治療を補助対象外とした。

成人感染症予防事業

問 带状疱疹ワクチン予防接種について、対象を50歳以上とした理由と費用は。

答 带状疱疹の発症率が50歳代から上昇すること、2種類のワクチンが50歳以上の方への接種について承認されていることによる。また、水痘ワクチンは4千円、带状疱疹ワクチンは1回1万円の助成額で設定している。

担い手支援事業

問 新規就農者奨励金の内容は。

答 令和5年4月以降に親元就農または独立・自営就農した市内に住所を有する就農時の年齢が50歳未満の方で、田原市4日クラブ連絡協議会に加入・活動し、田原市農業改良推進協議会主催のニューファーマーセミナーを修了した方に10万円の奨励金を支給する。

農業経営活性化事業

問 電気料金高騰対策特別支援金対象者の選定および支援額は。

答 農業の販売金額に対する電気料金が占める割合が、令和3年で4.5%、令和4年で5.8%以上と